

安全上の注意

安全に使用していただくために下記の事項を必ずお守りください。

室内用ディスプレイ設置用品

左記以外の用途には使用しないでください。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

- 火気や暖房器具のそばでは使用しないでください。火災ややけど、製品の変形のおそれがあります。
- 製品にディスプレイ以外のものを載せたり、ぶら下げたり、指定の用途以外の使用をしないでください。

- 取り付ける壁に十分な強度があることを確認してください。
- お子さまがいたずらしないよう注意してください。
- ゆするなどの無理な力をかけないでください。
- 耐荷重以上のディスプレイを取り付けしないでください。



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

- 付属の部品をすべて使用するわけではありません。取り付ける壁面、ディスプレイに合った部品を使用してください。
- ディスプレイを本品に取り付けたり取り外す場合は、必ずディスプレイの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、接続機器間のコードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となるおそれがあります。
- 各種パーツの端部で手を切らないように、注意してください。(軍手などをして組み立てることをおすすめします。)
- 各種パーツに油分が付着している場合がありますので、拭いてから使用してください。
- この取扱説明書の組み立て手順にしたがって、正しく組み立ててください。
- 必ず耐荷重以内で使用してください。

- 腐食やかび・変形・変色の原因となりますので、以下のことに注意してください。
- ・直射日光の当たる場所や、高温多湿になる場所に長時間置かないでください。
- ・水分、油、洗剤などが付着した場合は、素早く拭き取ってください。
- ・ぬれたものや熱いものを置かないでください。
- ・シール、テープなどを貼らないでください。
- 金属部材に傷をつけると、そこからさびが発生することがありますので注意してください。
- 使用しているうちにねじやボルトにゆるみが発生し、ぐらつくことがありますので、定期的に締め直してください。

- 天災地変や、不当な修理・改造による事故・破損に対する補償はいたしかねます。
- 製品および梱包材を廃棄される際は、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

仕様

品 番	KBK-66S
製品サイズ(約)	幅660×奥行70～515×高さ430mm
耐 荷 重(約)	45kg
主 要 材 質	スチール (エポキシ粉体塗装)

※耐荷重は測定値であり、保証値ではありません。
※商品の仕様は予告なく変更することがあります。
※ディスプレイは付属しておりません。

アイリスオーヤマ株式会社

〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/>

製品に関するお問い合わせは

アイリスコール (通話料無料)

0120-211-299

受付時間 平日 9:00～17:00、土・日・祝日 9:00～12:00 / 13:00～17:00
(年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く)

FAX でのお問い合わせは (通話料無料)

0800-888-2600

Web からのお問い合わせは <https://www.irisohyama.co.jp/support/>
メールフォームにご記入のうえ送信してください

取扱説明書

IRIS OHYAMA

ディスプレイ壁掛け金具

KBK-66S

このたびは、アイリスオーヤマ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

また、取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。

作業は必ず2名以上で行ってください。

■必要工具



⚠ 注意

インパクトドライバーは使用しないでください。
破損するおそれがあります。

組み立て前の確認

⚠ 注意

種類によっては
取り付けられない
ものがあります
ので、必ずご
確認ください。

■取り付け可能なディスプレイ

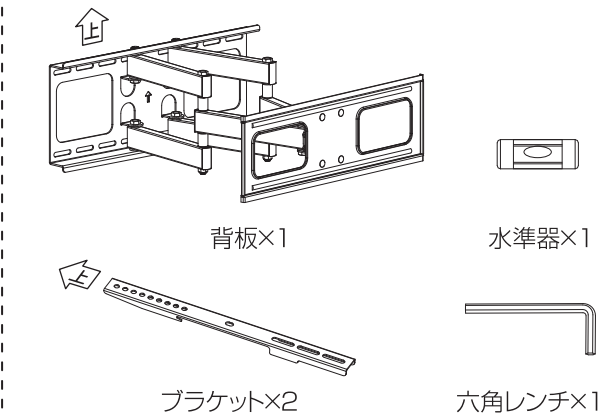
- ・ VESAマウントインターフェイス：200×200mm、300×300mm、400×200mm、400×400mm、600×400mm ・最大重量：45kg
- ・ 背面（裏面）が平面である、もしくは4cm以上の段差のないディスプレイ

■取り付け可能な壁

木製スタッド壁、硬いコンクリート壁、レンガ壁
※木柱のない石膏ボード壁面には取り付けしないでください。
※垂直で平らな壁面であることを確認してください。

パーツリスト

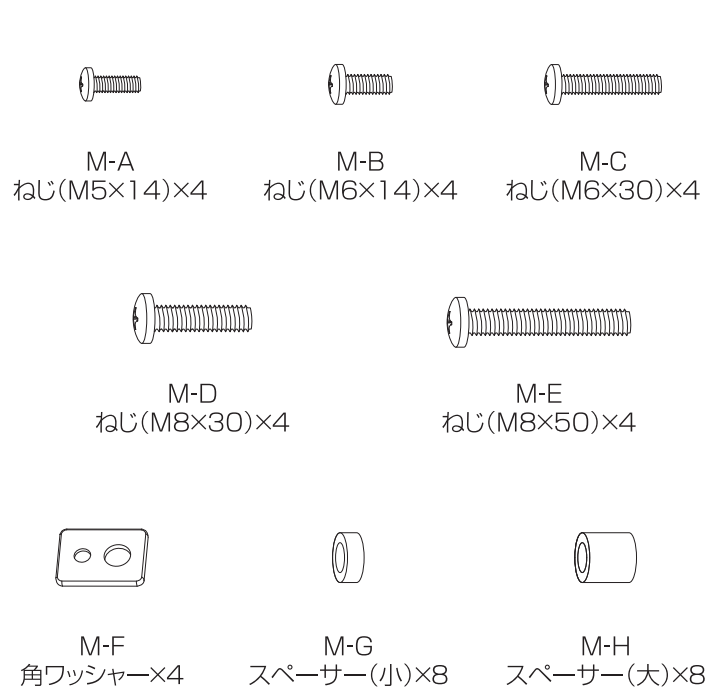
■本体



■背板取り付け用部品



■ディスプレイ取り付け用部品



組み立てかた

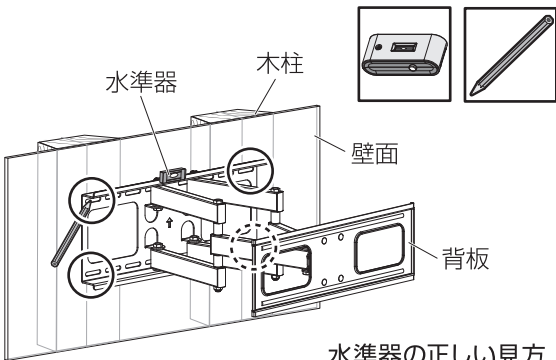
●付属のディスプレイ・背板取り付け用部品を使用し、ねじは締めすぎないようにしてください。
●部品は正確に取り付けてください。●組み立て作業は必ず2名以上で行ってください。

●取り付ける壁面を確認し、取り付け方法をお選びください。
※取り付け方法は2通りあります。

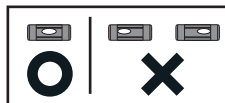
【木製スタッド壁に取り付ける場合】

- 1 木柱の位置を確認し、背板の取り付け位置にペンでマーキングする**
- ①下地センサーで木柱の位置を確認し、木柱の両端や中心位置に4か所マーキングします。
 - ②①の木柱の位置と水準器で背板の水平を確認しながら、背板取り付け位置を決めます。
 - ③背板取り付け位置にペンで4か所マーキングします。

必要工具



水準器の正しい見方



- 2 木材ドリルで壁面に下穴をあけ、背板を壁面に取り付ける**
- ①③で付けたマークの中心位置に、木材ドリル(4.5mm)を使用し、下穴を4か所あけます。
 - ②①であけた下穴の位置に、平ワッシャーとラグボルトで背板を固定します。

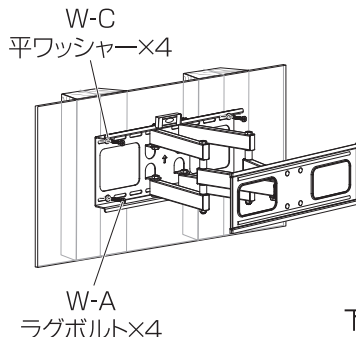
必要工具



注意

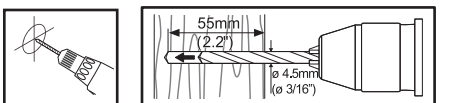


アンカーはコンクリート壁やレンガ壁に適しています。木製スタッド壁には使用しないでください。



W-A
ラグボルト×4

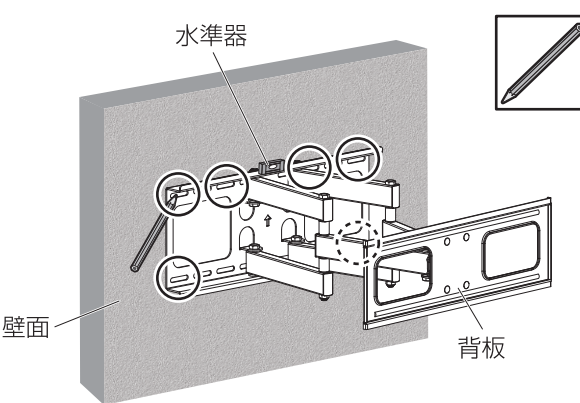
下穴の深さは少なくとも55mm



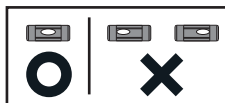
【硬いコンクリート壁、レンガ壁に取り付ける場合】

- 1 水準器を使用し、背板取り付け位置に6か所マーキングする**
- ①水準器で背板の水平を確認しながら、背板取り付け位置を決めます。
 - ②背板取り付け位置にペンで6か所マーキングします。

必要工具



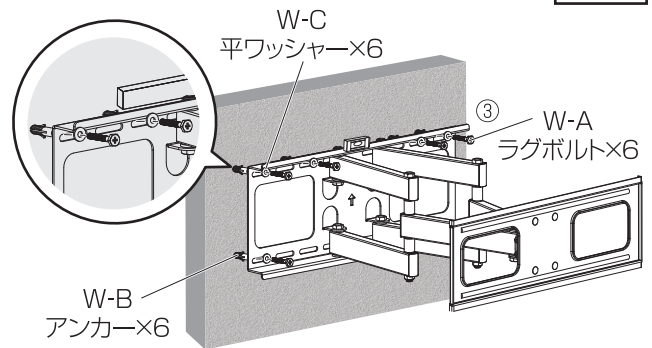
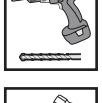
水準器の正しい見方



- 2 コンクリートドリルで壁面に下穴をあけ、背板を壁面に取り付ける**

- ①②で付けたマークの中心位置に、必要工具
コンクリートドリル(10mm)を使用し、下穴を6か所あけます。
- ②①であけた下穴にアンカーを差し込みます。差し込みづらい場合は、ハンマーを使用して差し込んでください。
- ③②で差し込んだアンカーに、平ワッシャーとラグボルトで背板を固定します。

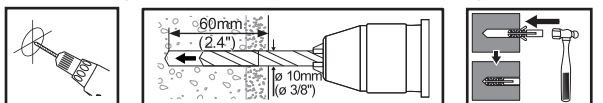
必要工具



W-B
アンカー×6

① 下穴の深さは少なくとも60mm

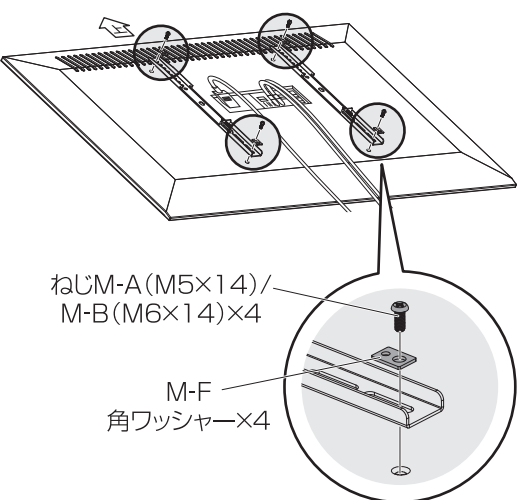
②



3 ディスプレイにブラケットを取り付ける

※ディスプレイのねじ穴に適したねじを使用してください。

スペーサーなしの場合



ねじM-A(M5×14)/
M-B(M6×14)×4

M-F
角ワッシャー×4

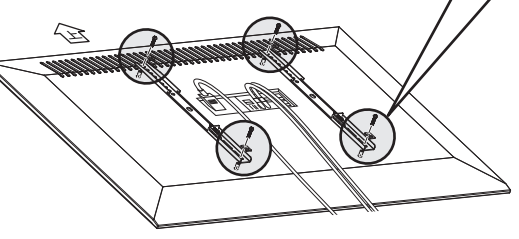
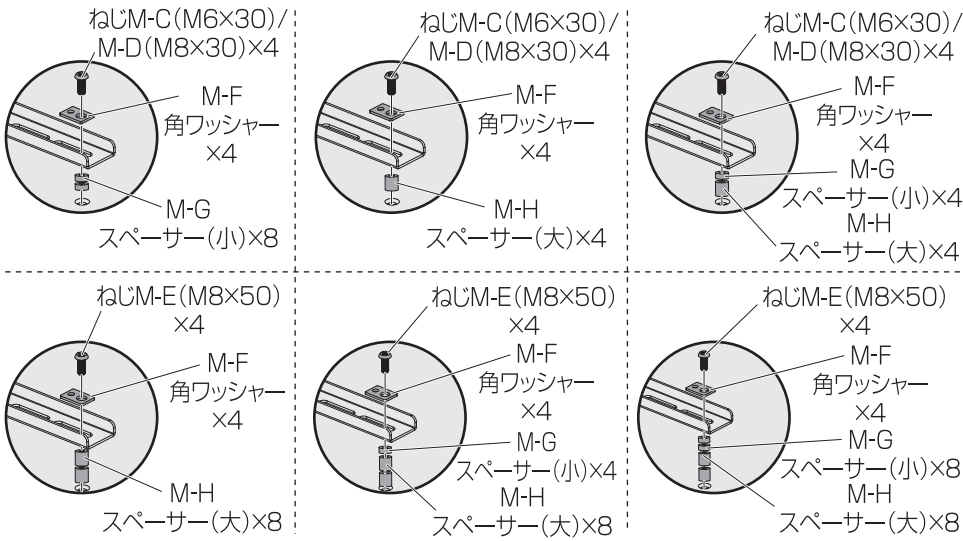
ねじがブラケットに対して垂直に締まっていることを確認してください。



スペーサーありの場合

ディスプレイの背面にアクセサリがある場合、スペース確保として使用

【ねじとスペーサーの組み合わせ方】



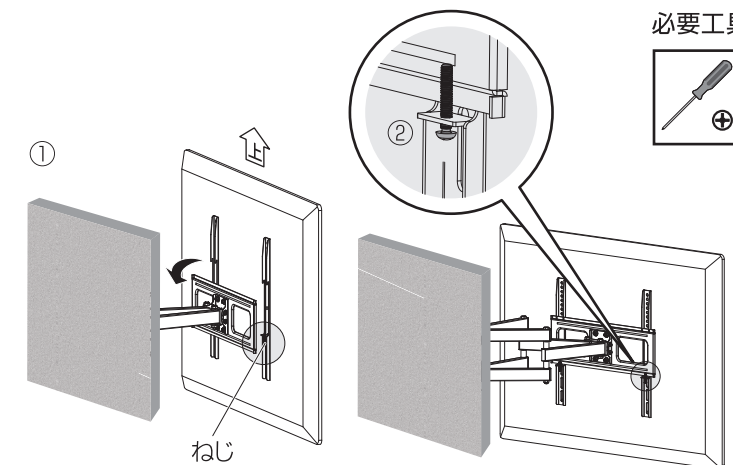
ねじがブラケットに対して垂直に締まっていることを確認してください。



4 背板にディスプレイを取り付ける

- ①ブラケット下部に付属しているねじを緩め、背板にブラケット上部を引っ掛けます。
 - ②ブラケット下部のねじを締め背板に固定します。
- ※ねじを締め過ぎないようにしてください。破損のおそれがあります。

必要工具



組み立て完了後、確認してください。

- ・ボルトなどがしっかり締まっていること。
- ・製品全体にゆがみやねじれ、がたつきがないこと。

5 取り付けたディスプレイをお好きな角度に調整し、固定して完成

※角度の調整・固定には付属の六角レンチを使用してください。
※無理な角度に調整することは危険ですでおやめください。

ディスプレイの調整可能な角度

